

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

晴海通り－1

平野 武宏



道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」と歩いてきました。

今回は「晴海通り」を歩きます。晴海通りは千代田区日比谷公園の内堀通りの祝田橋交差点を起点に、江東区東雲の湾岸道路の東雲交差点に至る延長約 6 kmの道です。日比谷・銀座の繁華街から勝鬃橋を渡り、晴海・豊洲の開発された臨海部を歩きます。写真右上は晴海通りの道路名標識（都道 304 号線）です。但し、起点から日比谷交差点までは国道 1 号線となっています。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時の写真もあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[祝田橋交差点] 千代田区日比谷公園

最寄駅 都営地下鉄三田線 日比谷駅



祝田橋交差点（写真上左）は内堀通り（都道 301 号線）の起点・終点及び晴海通り（国道 1 号線）の起点です（写真上右）。晴海通りは左側に日比谷濠、右側に日比谷公園を見て進みます。次の日比谷交差点までは国道 1 号線です。祝田橋交差点周辺は寅さん歩 411 及び 412 内堀通りをご覧ください。

[日比谷公園] 千代田区日比谷公園

最寄駅 都営地下鉄三田線 日比谷駅

「日比谷公園」は晴海通りの祝田橋交差点から次の日比谷交差点との間に続く右側にあります。幕末までは大名屋敷、明治に入り陸軍練兵場として使われ、その後の都市計画で首都東京にふさわしい近代的な公園（和の要素を巧みに織り込んだ日本初の西洋風公園）として設計・造成され 1903 年（明治 36 年）に開園しました。写真下左は祝田橋交差点前にある公園入口の祝田門、写真下右は園内の雲形池の紅葉・黄葉で寅次郎、お気に入りの風景です。

寅さん歩 82 東京の紅葉・黄葉一1をご覧ください。



日比谷公園については寅さん歩 450 日比谷通り一2 及び寅さん歩 189 東京にこんなところ一19 をご覧ください。

[日比谷交差点] 千代田区日比谷公園

最寄駅 都営地下鉄三田線 日比谷駅

日比谷交差点（写真下右）で日比谷通りと交差します。左は国道 1 号線で大手町方面、右は都道 409 号線で芝公園方面となります。直進の晴海通りは都道 304 号線となり、有楽町・銀座方面へ向かいます。



写真下左は日比谷交差点の晴海通りの道路名が変わる標識です。写真下右は交差点左の馬場先濠と帝劇方面です。土曜日の早朝で街はまだ眠っています。



[数寄屋橋交差点] 中央区銀座六丁目

最寄駅 東京メトロ丸ノ内線 銀座駅

JR有楽町駅の脇を過ぎると数寄屋橋交差点（写真下右）です。数寄屋橋交差点では外堀通り（都道405号線）と交差します。左へ行くと鍛冶橋方面、右へ行くと新橋方面です。数寄屋橋交差点については寅さん歩426 外堀通り-1をご覧ください。



[銀座四丁目交差点] 中央区銀座四丁目

最寄駅 東京メトロ銀座線 銀座駅

銀座四丁目交差点で中央通り（国道15号線）と交差します。写真下左は銀座四丁目のランドマークの「和光」、右先の角は「ニッサンショールーム」（写真下右）です。



左先角は「三越」（写真下左）、三越のライオンもマスク姿（写真下右）です。銀座四丁目交差点については寅さん歩 442 中央通り-1をご覧ください。



[三原橋交差点] 中央区銀座四丁目

最寄駅 都営地下鉄浅草線 東銀座駅

「三原橋」は川幅三十間（約55m）あった三十間川堀にかかっていた橋でした。戦後埋め立てられて誕生した地下街も2014年（平成26年）に解体されました。三原橋交番付近（写真下左）もきれいに整備されています。



三原橋交差点（写真上右）で昭和通り（都道 316 号線）と交差します。
 左へ行くと上野方面、右へ行くと新橋方面です。三原橋交差点については寅さん歩 401 昭和通りー1 をご覧ください。



[歌舞伎座] 中央区銀座四丁目 最寄駅 都営地下鉄浅草線 東銀座駅



交差点を渡るとすぐ左が「歌舞伎座」です。1889 年（明治 22 年）開業、2013 年（平成 25 年）第 5 期建て替え工事でオフィスビルを伴った新ビルに生まれ変わり、2013 年（平成 25 年）4 月から 1 年間こけら落としで興行されました。

寅次郎の訪問時は「市川海老蔵改め十三代代市川團十郎襲名披露 八代目市川新之助初舞台 11 月歌舞伎吉例顔見世大歌舞伎」（写真上左）がかかっています。隣には「歌舞伎稲荷大明神」（写真上右）が祀られています。

[万年橋・築地川銀座公園] 中央区築地一丁目

最寄駅 都営地下鉄浅草線 東銀座駅

「万年橋」（写真下左）は旧築地川にかかっていた橋で川は埋め立てられて首都高速環状線が通っており、上は「築地銀座公園」（写真下右）になっています。



[築地四丁目交差点] 中央区築地四丁目

最寄駅 東京メトロ日比谷線 築地駅

いつもお煎餅を買いに来る「もち吉」の前を通過すると築地四丁目交差点（写真下右）です。築地四丁目交差点で新大橋通り（都道 50 号線）と交差します。左へ行くと新大橋方面、右へ行くと汐留方面です。左角は「築地本願寺」、右角は「旧築地市場」で「築地場外市場」は健在です。



今回はここまでとします。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。

全行程約600里(約2400km)の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022年4月26日、江戸深川(現在の江東区深川)を出発、2022年12月15日酒田(現在の山形県酒田市)(江戸深川から1116km)に到着しました。

八柳さんのコースシートには、次の「奥の細道」本文の評釈と俳句の注釈が掲載されています。

酒田では淵庵不玉という医師のもとを宿とした。

「あつみ山や 吹浦かけて 夕涼み」

(注釈：おりからの暑気に、その名も暑さと縁のあるあつみ山。頭をめぐらせば、暑さを吹き払う涼しげな名の吹浦が見える。そのあつみ山から吹浦へかけての眺望を一望に見渡しながら夕涼みをするとは、なんとしゃれたことだろう)

「暑き日を 海に入れたり 最上川」

(注釈：赤い日が海に沈もうとしている。暑い一日を、大河の水に浮かべ海に流し入れてしまったのだ。流れ終えた最上川の河口あたりからは、涼しい夕風が立ち始めている。

夕涼みの句、いずれもほっと一息入れている芭蕉の小休止の姿が浮かぶ。酒田は北前船の港として賑わったところである。酒田の本間家は、本間様にも及びもせぬが、せめてなりたや殿様にと言われたほどの豪商であった。戦後の農地解放で土地を失った。ホンマゴルフは有名である)

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝